

知って誇れる

大和で育む 技術と安全



「技術」と「人材」を磨く戦略拠点
技術者たちを「一流に育てる」
テクノセンターに潜入！

「六本木ビルズ森タワー」や「東京ミッドタウン日比谷」、そしてスーパーコンピュータ「富岳」の空調設備。日本の空の玄関口である成田国際空港の手荷物・貨物輸送システム。全国各地の自治体の上下水処理施設。これらはほんの一例ですが、誰もが知っている建物や施設の基盤の多くに三機工業株式会社がかかわっています。

今回は、中央林間にある三機テクノセンターに潜入し、わたしたちの生活を陰で支える技術の源を探りました。

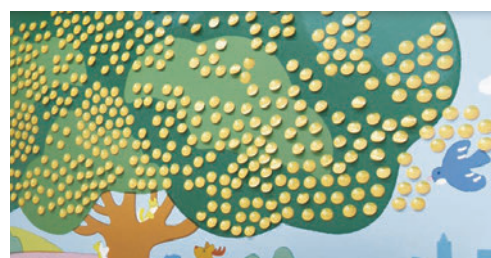
〒市役所広報課広報係 ☎(260)5313
FAX (261)4592

三機テクノセンターは、中央林間駅から徒歩15分にある総合研修・研究施設です。地下2,000平方メートルの大空間には、実機による技術・技能研修や体感・体験型の安全研修ができる設備が整っています。ここには、設備工事だけでなく、食品製造業、精密機器製造業などの異業種や学生、官公庁の職員まで、さまざまな技術者が腕を磨きに全国各地から訪れています。

「知る」だけでなく「できる」を目指す
オンラインワンの教育メソッド

研修では教育の質を最優先し、「8人1グループ」の少人数制を徹底。一方的な講義ではなく、五感をフル活用した学びの提供ができるよう、設備の展示一つ一つに細部までこだわりが隠されています。「知識を単なる暗記で終わらせず、現場で真に役立つ「力」として定着させたい」。このような「感性の育成」を主眼に置いた教育メソッドは、三機テクノセンターが独自に生み出したもので、日本でも極めて希少。業界全体の技術・安全レベルを引き上げたいという思いから、年に150回もの視察や他社・団体の研修を受け入れています。

また、市内の高校生や保育園児たちの見学、体験学習も積極的に受け入れ、社会全体に「安全の目」を育む文化を広めています。設立以来、数千人の研修生が旅立ち、こ



研修終了者が紙に書いた安全宣言



リマインドを送って
研修後のフォローを
しているんだって

で身に付けた知識
や感性を生かして
日本の技術と安全
を支えています。

安全を学ぶ

リアルな感覚を通して、研修生自らが現場の危険に気づくプロセスを重視しています。身体に危険を及ぼす作業はVRを使うなど、より実践に近い形式で模擬体験をします。

記者が実際に体験！



高所での作業場面をVRで体験



マネキンで危険を見つける目を養う



危険な脚立のぐらつきを体感



配管などの模型で間違い探し



揺れ止め施工の有無で、地震による空調設備の揺れがどう違うか比較

現場で施工を見て間違いに気づけるか。知識だけではなく気づく力を養います。

技術を学ぶ

三機環境園に行ってみよう！

一般開放もしている、三機テクノセンター敷地内にある緑地。誰もが自由に入園でき、近隣のかたや保育園の散歩コースにもなっています。池でもが子育てをしているたり、ニートンのりんごの木があったり、とても自然豊かな場所です。運がよければ、神奈川県絶滅危惧1類指定の希少なとんぼが見られるかもしれません。



環境省 生物多様性のための30by30アライアンスに参画



かるがも



キイトンボ



三機テクノセンターの南側に入り口があります。インターホンを押して名簿に記名をして入ります。
開園時間：月～金曜日午前9時～午後5時。

従業員インタビュー

研修センターで講師をする
小暮遥香さん

日々、どのような思いでお仕事をされていますか？



「受講者の皆さんが、もっと楽しく、もっと深く学べる研修にするにはどうしたらいいか」を常に考えて仕事をしています。受講者のニーズに寄り添うことを大切にしているので、「充実した学びになった」という言葉をいただけたときは、本当にうれしいですね。頑張ってきてよかった、と心から思える瞬間です。

大和市の思い出

入社時に配属されて以来、わたしの社会人生活の大部分は大和市と共にあります。大和市は、自然の豊かさや街の活気が絶妙なバランスで共存している場所だと思っています。リフレッシュしたいときは共同カテックみらいパーク(引地台公園)や泉の森を散歩しますし、毎年恒例の「神奈川大和阿波おどり」は欠かさず楽しみにしている大好きなイベントです。

